

令和8年度当初予算 福島県東日本大震災こども支援基金活用事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初予算	うち 基金充当額
1	“医療の仕事”魅力発信事業	小学生(高学年)及び中学生を対象に、様々な医療職種について紹介するコンテンツによる情報発信及び医療職種に関する体験学習を実施し、医療職種の魅力を伝える機会を創出する。	医療人材対策室	1,980	1,980
2	若者の県内定着のための看護の魅力発信事業	小学生向けの看護体験イベントや看護職が学校等へ出向く「出前講座」、高校生が医療機関で患者や看護職と実際に接する「1日看護体験」を実施し、看護職の魅力を伝える機会を創出する。	医療人材対策室	30,574	30,574
3	ふくしま絆ふれあい支援事業	子どもと大人、子ども同士のペアで、共通体験や思いを十七字で読み合う活動を通じて心の交流を深め人と人の絆を強めるとともに、東日本大震災や福島復興について、福島県の小中高生と共に学んだ県外の子どもたちからも広く作品を募集し、震災の記憶の継承に役立てる。	社会教育課	1,613	1,613
4	ふくしまの未来をひらく読書のカププロジェクト(情報発信プロジェクト)	未来の福島を担う中高生に対し、ビブリオバトルなどを通して、本に関心を持ち、「心に残る一冊の本」と出会うきっかけにするとともに、読書により感じた思いを表現することを通して、情報発信力等様々な力を向上させる。	社会教育課	1,060	1,060
5	理数コンテスト事業 (未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業)	・「福島イノベーション・コースト構想」を周知し、福島の将来への夢や憧れを膨らませる。 ・算数・数学、理科への興味、関心を高め、自分の力を試したり、知見を広げたりするために、論理的な思考力・科学的思考力を問う問題に挑戦する機会を設ける。	義務教育課 高校教育課	4,285	858
6	ロボット技術力向上事業	各工業高校のロボットの製作活動を支援するとともに、学校間の連携をより一層推進し、本県の新たな産業分野であるロボット分野で活躍できる人材を育成する。	高校教育課	3,658	3,570
7	専門教育魅力発信応援事業	県内6地区を対象に、小中学生が専門教育を実施している高校を訪れ、専門教科の授業や実習に触れる。その中で、小中学生が高校の学習活動への理解を深め、進学の意欲を高めるとともに、高校生にとっては、学習内容と将来設計の関連性を再認識し、講師や実習の補助等を行うことにより、自身の誇りを持つことにつながる。この一連の効果によって、福島の将来を担う児童生徒の夢の実現につながる。	高校教育課	4,890	4,890
8	夢に向かってテクノチャレンジ事業	特別支援学校高等部生徒の活躍の場を設け、働く意欲や向上心を高めるとともに、高等部卒業生の就職率の向上を図り、福島県の未来を担う人材を育成する。	特別支援教育課	5,884	5,475
9	元気なふくしまっ子食環境整備事業	学校給食における地場産物の活用については、原子力発電所事故に伴う放射線の健康影響に関する不安がまだにある。そこで、小中学生を対象に地元の農産物を活用した料理コンテストを開催し、入賞したレシピを広く県民に発信することにより、子どもたちの食べる力の育成や地元の食材に対する理解を深め、地場産物の活用率の向上につながる。	健康教育課	3,350	371
10	ふくしまプロスポーツ地域活力創出事業 (ふくしまの夢応援事業)	本県のプロスポーツ5チームと連携して、子どもたちの憧れ、目標の存在である選手等から、直接、夢を持つ素晴らしさや体を動かす楽しさを学べる授業、手に汗握るプロの公式試合会場での選手との交流など、特別な体験機会をつくることで、福島の次代を担う子どもたちの健やかな成長、心と身体の充実を図るとともに、福島への愛着心の醸成を目指す。	地域振興課	34,635	29,627
11	アートで広げる子どもの未来プロジェクト	福島の未来を担うこども達に将来「新生ふくしま」を推進する人材として活躍してもらうため、県内の小中学校等に、県内外で活躍するアーティストを講師に招き、多彩なアートプログラムを体験できるワークショップを開催する。	文化振興課	9,632	9,632

令和8年度当初予算 福島県東日本大震災子ども支援基金活用事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初予算	うち 基金充当額
12	子ども音楽体験支援事業	東日本大震災直後から本県の復興を支援し、令和6年に県との包括連携協定を締結した日本フィルハーモニー交響楽団と連携し、県内の子どもたちを対象としたアウトリーチ活動を行うことで、音楽を通じた文化振興、福島県の未来を担う人材の育成を行う。	文化振興課	2,759	2,759
13	震災・原発の経験・教訓、復興状況伝承事業(ジャーナリストスクール開催事業)	未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において、復旧・復興のために活躍している個人や団体に対し、これまでの努力や成果、今後の夢や目標等について取材をし、新聞記者等の指導を受けながら、新聞にまとめ、発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、自分の将来の夢や希望を深く考えさせる機会とする。	生涯学習課	7,717	300
14	東日本大震災・原子力災害伝承館学習活動支援事業	震災から15年を迎える中、福島の未曾有の複合災害を経験していない子どもたちが年々増加している。このため、県内の児童生徒が伝承館等での震災学習活動を通して複合災害の現状や復興に向けた取組を学び、福島の復興、未来について自分事として考え、自分の言葉で発信できる知識を習得することで、災害の記憶と教訓を継承するとともに、福島のアプローチの醸成、将来を担う子どもの成長、本県復興への参画につなげていく。	生涯学習課	27,659	25,233
15	輝け未来へ！スマイルスポーツ教室inふくしま	県内の子どもたちを対象とした、オリンピック競技種目やアーバンスポーツなどの関心の高い種目のスポーツ体験教室を開催し、子どもたちの将来の夢や希望を育むとともに、スポーツのもつ価値や魅力・身体を動かす楽しさを伝え、より一層のスポーツ活動への参画や運動習慣の定着を促す。 【R8年度想定種目】 スカイスポーツ、BMX教室 スケートボード教室	スポーツ課	9,366	9,349
16	ふくしま水素エネルギー人材育成事業	福島イノベーション・コースト構想の下、FH2R、水素ステーションなどの水素関連施設が拡充してきている。また、テクノアカデミー浜に水素製造装置及び燃料電池装置が令和6年5月に完成した。 県内の水素エネルギー利用技術や県内外の水素エネルギー研究の第一人者を招聘しながら、各種講座やイベント、課題製作などを実施することで、再生可能エネルギーや環境問題、SDGsに関して関心を高めながら人材育成を図る。	産業人材育成課	10,630	10,476
17	ふくしま自転車安全利用教育推進事業(自転車安全利用テスト事業)	既存事業である「ふくしま情報モラル診断」をモチーフとした自転車安全利用に関する道路交通法テストのシステムを構築し、道路交通法を学ぶ機会の少ない児童・生徒に履修してもらい、効果的な自転車安全利用教育の充実を図る。	交通部 交通企画課	29,455	28,721
18	子どもを守る情報モラル向上支援事業	家庭や学校で子どものインターネット利用に関する基礎知識の習得度合いと利用状況を把握し、その向上と改善を図る支援システム「ふくしま情報モラル診断」を運用する。	子ども・青少年政策課	3,960	3,960
19	地域で支える子育て推進事業	地域全体で子育てを支援する機運の向上を図るため、地域の子育て支援につながる企画提案を公募し、採択した事業に要する経費を補助する。	子ども・青少年政策課	9,600	9,600
20	子どもの将来応援事業	子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、支援制度や相談窓口等の情報が掲載されたリーフレットを作成・配布するとともに、ウェブサイト上での情報発信を行う。	子ども・青少年政策課	2,354	2,354
21	ふくしまのこどもの意見を社会に届ける事業	「子ども・若者の地域への定着」をテーマとした探究活動を行い、子どもたちが地域への定着又はUターンを考えるきっかけづくりを行い、将来の地域づくり・復興創生の担い手を確保する。	子ども・青少年政策課	2,350	2,350
22	こどもの居場所づくり支援事業	こどもの居場所づくりを支援し、こどもたちの社会的孤立を防止するとともに、支援を必要としているこどもたちやその家族を支援機関につなげる仕組みづくりを行う。	子ども・青少年政策課	15,879	15,879

令和8年度当初予算 福島県東日本大震災子ども支援基金活用事業

(単位:千円)

No.	事業名	概要	担当課	当初予算	うち 基金充当額
23	ふくしまの子どもたちの体験活動促進事業	福島県内の居場所(子ども食堂等)を利用する子どもたちを対象とした、通常の居場所の活動とは別に企画・実施される、福島ならではの体験活動(スポーツや文化芸術活動、自然体験、社会体験、文化的体験等)の取組に対して補助金を交付する。	子ども・青少年政策課	9,024	9,024
24	子ども・若者の地域貢献応援事業	令和8年6月末で福島県青少年会館が閉館することから、県の青少年行政が後退することのないよう、公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構や福島県青少年育成県民会議と連携し、青少年団体等への支援を強化する必要がある。	子ども・青少年政策課	5,783	5,783
25	子育て応援駐車場表示事業	子ども(未就学児)と一緒に安心して気兼ねなく外出できる環境づくりと、子ども・子育てを社会全体で応援している意思表示の一環として、施設の駐車場に子どもが乗り降りしやすい広めのスペースを設ける「子育て応援駐車場」を設置する。	子ども・青少年政策課	2,176	2,176
26	世代間交流による地域コミュニティ再構築事業	社会全体での子育て支援を推進するため、高齢者と子どもが、昔ながらの遊びや伝統文化を教え学ぶ交流会を通し、世代間交流を行う「地域の寺子屋」を県内各地で開催し、本県の復興を担う子どもたちを社会全体で育てる。	子ども・青少年政策課	3,740	3,740
27	リトルベビーハンドブック活用事業	低出生体重児が活用できる「ふくしまリトルベビーハンドブック」を作成し、対象者に配付することで、必要な情報を提供でき、安心して子育てができる。	子育て支援課	321	321
28	魅力あふれる保育環境づくり支援事業	子どもの育ちによって重要な「遊び」の環境を改善し、県内の保育所や認定子ども園等の保育の質を向上させる。	子育て支援課	6,660	6,660
29	地域で育む保育環境創造事業	本県の特徴ある資源(県産の材料等)を活用し、地域がかかわりながら豊かな遊びの環境を創り、地域で子どもを育む意識を醸成する。	子育て支援課	6,666	6,666
30	未来に進もう!子どもの夢応援	児童養護施設等を退所し、進学する者について、生活を支援する生活給付金、進学・新生活準備のための入学支度金、住居契約更新等の臨時支出費用のための臨時給付金を給付することで、経済面の安定を図り、自立のための支援を行う。	児童家庭課	32,563	32,563
31	児童養護施設等入所児童自立支援事業	児童養護施設等に入所している児童の自動車運転免許の取得を支援することにより、就職先の選択肢の拡大を図り、児童の社会的自立の促進を図る。	児童家庭課	10,890	10,890
32	障害児入所施設入所児童自立支援事業	障害児入所施設に入所している児童の自動車運転免許の取得を支援することにより、就職先の選択肢の拡大を図り、児童の社会的自立の促進を図る。	児童家庭課	330	330
33	子どもを守ろう!見守りサポーター養成事業	CAPプログラム(子どもへの暴力防止)を活用して、県民に広く児童虐待防止のための教育又は啓発を行う事業。子どもは人権の大切さを学び、虐待から身を守る方法を身につけるプログラム等を実施している。	児童家庭課	5,910	5,910
合計				307,353	284,694